

令和5年度 第2回印西市健康づくり推進協議会 会議録

1. 開催日時 令和5年10月26日(木) 午後2時から
2. 開催場所 印西市役所 別館 農業委員会会議室
3. 出席委員 岩谷委員、堀江委員、石橋委員、井ノ口委員、秋本委員、萬谷委員、及川委員、高橋委員、渡辺委員、本間委員、鈴木委員、永井委員、松尾委員
4. 欠席委員 東本委員
5. 事務局 岡本部長、坂本課長、木村係長、伊藤係長、斎藤係長、小野田係長、酒井主任栄養士、海老原主任歯科衛生士、荻原保健師、野村主任主事
6. 傍聴者 3名
7. 議事 (1) 「第2次健康いんざい21～印西市健康増進・食育推進計画～」の進捗状況(事業の実施状況)について
(2) 市民アンケート「印西市健康と食育に関する調査」について
(3) 「いのち支えあういんざい自殺対策計画」の進捗状況について
8. 議事録 (要点)

(1) 「第2次健康いんざい21～印西市健康増進・食育推進計画～」の進捗状況について

(事務局)： 「第2次健康いんざい21～印西市健康増進・食育推進計画～」の進捗状況について、事前にいただいた意見、質問等(以下「事前意見等」とする)について回答させていただきます。

(事前意見等1)：

今年度の健康講演会について、9月6日にふれあいセンターいんばで実施済みだと思いますが、定員70名に対して参加者は何名か。

また、講演会の案内は、広報のみか、健診結果に基づくフォローとしてあったのか。

そして、前回の会議でネットでの同時視聴やネット配信の予定について質問した際には、今のところ難しいとのことだったが、実施日が平日の昼間なので、今後、例えば、後日YouTube配信するといったことを検討する予定はあるか。

(事務局)： まず9月6日の健康講演会は、「自分や家族の未来のために「あなたの血管は大丈夫？血糖値について知ろう！」と題しまして、日本医科大学千葉北総病院糖尿病・内分泌代謝内科部長の岡島医師に講義をしていただきました。参加者につきましてですが、申し込みが定員に達したため途中で締め切りをした状況でしたが、当日は欠席者がいたため59人の参加でした。

周知につきましては、広報いんざいや市ホームページ、健診結果同封チラシのほか、日本医科大学千葉北総病院や市内公共施設、健診会場でのポスター掲示、チラシ配布をいたしました。

また、来年度以降に YouTube 配信が可能かとのことですが、医師自ら作成いただいている資料を講演会で使用しておりますので、配信は難しいものと考えてはおりますが、来年度改めて検討したいと考えております。

(事前意見等 2) :

ウォーキングマップ全 8 コースについて、今後新たにコースを作る予定はあるか。

(事務局) : ウォーキングマップにつきましては課内でも検討しておりまして、全体の業務調整の上でとなりますが、例えば市民の方と一緒に作るような形でコースを増やすことも検討していきたいと考えております。

(事前意見等 3) :

先般発表されたスポーツ庁実施の「体力運動能力調査」で 40 代女性の体力が落ちているとの発表がありましたが、印西市で今後その年代に向けての取り組みを推進する予定はあるか。また、子どもや高齢者への対策は充実しているが「健康に関心の低い大人」をどうやって少しでも体力アップしていくのか、の対策も今後必要ではないか。今から対策することで、将来のフレイルになる可能性を少なくしたり、健康寿命の延伸に対する対策になる。

(事務局) : 問題提起をしていただきありがとうございます。現在はヘルスアップ教室、健康づくりセンター、松山下公園総合体育館トレーニングルームや事業にて体力づくりや健康づくりの運動支援をしておりまして、年齢問わず皆さんが参加できる形態のものが多いですが、今後の事業の方向性を定める視点として取り入れていきたいと考えております。

(事前意見等 4) :

子ども、高齢者、妊婦に対する対策はあるが、それ以外の成人に対する活動が少ないように感じる。啓発を進めるには難しい年齢層とは思いますが、出来れば、何らかの対策を講じる必要がある。口腔は、栄養の入り口であり、歯が悪ければ食べられず、歯周病など菌がたくさん住み着いていれば、食べ物と一緒に体の中にも入ってってしまうので、高齢になる前の対策が必要だと思う。

(事務局) : 健康増進課でも、成人に対する活動は課題として認識しております。そのため、今年度、まずは二十歳を祝う会において口腔に関するチラシ等を配布し、若い世代への啓発をしていくことを検討しております。

(事前意見等 5) :

日常生活の行動で身体の中のどの部分を使って動いているか、イラストなどで表現

したパンフレットがあるといいと思う。行動の質を高めることで生活意欲、元気な体づくりにつながっていくと思う。

(事務局)： 健康増進課では、市内14か所程度の公共施設に健康情報コーナーを設置し、そこにフレイルの予防習慣パンフレットやウォーキングマップ8種類などを置くことにより、皆様に提供させていただいております。また、市の公式YouTubeにおきまして、毎日楽しくヘルスアップ運動などの動画を提供させていただいております。

(事前意見等6)：

この37頁などに記載している、「おたよりの配布(定期)」はスクリレで配信しています。来年度以降31頁の【健康診査の受診促進】における小5児童の家庭への健診受診の啓発リーフレットや、53頁の【共食の大切さの周知】における低学年対象動画配信周知用のチラシ、55頁の【子どもの料理教室(食育)】における低学年対象のレシピ等について、ぜひ、スクリレで配信できるようにしていただけると助かります。

(事務局)： 小5児童の家庭への健診受診の啓発リーフレットについてお答えいたします。

この啓発は、生活習慣病教室の内容を家庭での話題にしながら、お子様からお家の方へ、生活習慣病を防ぐために、健診をすすめてもらうことを趣旨としている関係から、栄養士が持参し授業内で配布し、趣旨について養護教諭等から説明をいただいています。この様なことから、できれば今の方法を継続したいと考えております。

次に、53頁の「共食の大切さの周知」における低学年対象動画配信周知用のチラシ、55頁の「子どもの料理教室(食育)」における低学年対象のレシピ等ですが、どちらも親子食育教室(調理実習)を伝える同じチラシの配布を意味しています。

親子食育教室については、「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、生涯にわたり健全な食生活を実施できるように支援するため、学童期からの調理の機会を増やしていくことを目的としております。

現在は、コロナ感染症防止のために調理実習は行わず、職員による調理動画の撮影、編集、配信し、周知のためのチラシも作成しております。

低学年対象としているため、スクリレで保護者の皆様にお知らせするとともに、本事業の実施についてできるだけ子どもの目に触れる方法としてチラシの配布を継続させていただきたいと考えております。

(事前意見等7)：

虫歯予防に効果があるといわれているフッ素塗布ですが、印西市として、フッ化添付についての考え方、捉え方についてと、今後導入に向けての動きがあるか

どうかをお聞かせください。

(事務局)： 市では「印西市歯と口腔の健康づくり推進条例」の条文のとおり、フッ化物応用によるむし歯予防対策を推進しております。

フッ化物応用については、現在「2歳児歯科健康診査」また「子ども発達センター歯科健診」において、希望者にフッ化物歯面塗布を実施しております。

また、ホームケアとしてフッ化物配合歯磨剤の使用法について、児童館や子育て支援センターなどの健康教育で触れております。

令和6年度に向けては「2歳児歯科健康診査」に加え「1歳6か月児歯科健康診査」「3歳児歯科健康診査」でもフッ化物歯面塗布ができるよう予算を組んでいるところです。

(事務局)： 続いて、事前質問等のうち、健康増進課以外の庁内各課が担当するものについて回答いたします。

(事前意見等8)：

車で移動することが多く歩く機会が減った、休みの日は遅くまで寝ていたり、室内でゲームやYouTubeで過ごすことが多いなど、乳幼児の体力や運動機能の低下が目立っているため、保育の中で運動や遊びを意識的に取り組むとともに、保護者に戸外遊びや歩くことの大切さを伝えていますが、なかなか効果があがらないのが現状です。参考にさせていただきたく、健康増進課や指導課で行っている戸外遊びの推進等を教えていただけたら幸いです。

(事務局)： 教育委員会指導課から、「指導課では、県教育委員会等からの通知や資料があれば各幼稚園に周知しています。各園では、幼児期運動指針に基づき、「1日60分以上」を目安として体を動かす時間を設定しています。実践事例として、文部科学省ホームページに、「幼児期の運動促進に関する実践事例報告」や「体力向上の基礎を培うための幼児期における実践活動事例」が掲載されています。」との回答がございました。

なお、健康増進課ではお手元にお配りした「1歳6か月からのこれで安心 発育と育児」というそれぞれの年齢に応じた特徴理解や遊びの紹介をまとめたリーフレットを、1歳6か月健診・3歳児健診の際にリーフレットを配布しております。

(事前意見等9)：

先般発表されたスポーツ庁実施の「体力運動能力調査」で40代女性の体力が落ちているとの発表がありましたが、印西市で今後その年代に向けての取り組みを推進する予定はありますか。

(事務局)： スポーツ振興課から、「スポーツ振興課では、対象者の性別、年代を限定せず、スポーツ健康フェス、リフレッシュ教室、ニュースポーツ教室等を開催していますが、40代女性を対象とした事業を行う予定はありません。」との回答がございました。なお、健康増進課では40代女性のみを対象とはしておりませんが、35歳以上の市民を対象に、ヘルスアップ教室を実施しております。

(事前意見等10)：

育児相談件数が令和4年度は、令和3年度から大幅増加していますが、その要因に子育てサークル発足に向けた支援を通して、年齢別親子事業の実施、親子同士の交流を図ったことがあるのであれば、そのようなサポートは今後も継続してほしいと思います。

(事務局)： 子育て支援課から、「子育てサークルの立ち上げや運営につきましては今後も支援を行い、子育てをしている親子の支援を図ってまいります。」との回答がございました。

(事前意見等11)：

令和5年度の事業計画について幼稚園では食後の歯磨きを行う方向のようですが、保育園でも食後の仕上げ磨きの再開の可能性はありますか。当然感染症対策の上、うがいだけでなく食後の歯磨きを再開できるとよいと考えます。

(事務局)： 保育課から、「公立保育園では、B型肝炎感染予防の観点から、コロナ前から仕上げ磨きを中止しています。ちょうど、コロナ流行の時期の直前であったため、そのような印象を与えてしまったのかと思われます。

コロナの流行時には、うがいも中止しておりましたが、5類に移行後は、うがいを再開しております。歯磨きについては、今後検討していきたいと思っております。」と回答がございました。

(事前意見等12)：

令和4年度の主な取組みとして、人工知能(AI)による健康意識に合わせた特定健診の受診勧奨通知をしているが、その成果を伺いたい。経年の比較からわかるようなものがあるか。

(事務局)： 国保年金課から、「令和4年度の受診勧奨通知は8月に送付しており、その翌月の9月における受診者数は8月と比べて大きく増加しています。令和2、3年度の9月の受診者数と比較しても増加しており、通知の効果が出ています。」と回答がございました。

(事前意見等13)：

令和5年度は、過去3年の特定健診受診状況でセグメント化し、ナッジ理論に基づいた通知デザインを取り入れているとのことだが、チラシ別にどここの点を取り入れているか、チラシを見ながら説明を聞きたい

(事務局)： 国保年金課から、「6種類のセグメントがあり、それぞれの通知の特徴を説明いたしますと、一つ目は生活習慣病による医療機関の受診があり、受診先が個別健診に対応している場合で、こちらの通知では普段通院している医療機関名を出し、そこで特定健診が受けられるという手軽さを強調しています。二つ目は受診先が個別健診に対応していない場合で、こちらは医療機関名は出さずに普段通院されている方も特定健診の対象者であることがすぐに分かるデザインとなっています。三つめは生活習慣病による医療機関の受診がなく、過去3年の特定健診を毎年受診している場合で、こちらは元々健康意識が高い人となるため、健診を受けるメリットを分かりやすく伝えています。四つ目は通院がなく、特定健診の受診が不定期の場合で、特定健診は毎年受けることが重要であることを強調した通知となっています。五つ目は通院がなく、特定健診の受診も確認できない場合で、こちらは特定健診を受けないことで今後健康が失われてしまう可能性があることを示唆する内容となっています。最後の六つ目は新規に40歳になって特定健診対象者となった場合で、生活習慣病は40代から増加する傾向にあることを伝え、特定健診を受けることができるようになったことを前向きに考えてもらえるような内容となっています。

以上のような特徴が各セグメントごとにあり、その他の共通部分においては、特定健診自体の手軽さや実際に受診するまでの手順が簡単であることを、図に簡潔にまとめることで伝えています。」と回答がございました。

(事前意見等14)：

各種料理教室に関して味噌づくりもあったらよいと思います。

(事務局)： 生涯学習課及び高齢者福祉課から、「今回いただいたご意見につきましては、今後教室を企画する際の参考とさせていただきます。」と回答がございました。

(議長)： 他にご質問はありますか。質問がないので次の議題に移ります。

(2) 市民アンケート「印西市健康と食育に関する調査」について

(事務局)： 市民アンケート「印西市健康と食育に関する調査」について説明。

(議長)： 委員のみなさんからご質問はありますか。質問がないので次の議題に移ります。

(3) 「いのち支えあういんざい自殺対策計画」の進捗状況について

(事務局)： 「いのち支えあういんざい自殺対策計画」の進捗状況について説明。

(議 長)： 委員のみなさんからご質問はありますか。

(委 員)： 今説明のあった5頁の自殺予防週間・自殺対策強化月間の普及啓発のところ、市のホームページとかリーフレットとかポケットティッシュに相談先のQRコードを付けているということがわかりました。質問ではなく提案になりますが、人権週間や交通安全週間では子どもたちがポスターを描いて掲示したりなどがありますが、例えば学校で教育をするときに、月間や週間に合わせて子どもたちの力を借りながらポスターを作成してもらい、駅などより多くの人が目につくところで掲示し、相談先のQRコードなどを普及啓発するのもよいと思いました。

(事務局)： 貴重な意見ありがとうございます。教育委員会などと協議の上検討させていただきます。

(議 長)： 他にはよろしいでしょうか。ご質問がないようですので、以上で本日の議題を終了いたします。ご協力ありがとうございました。

令和5年11月15日

印西市健康づくり推進協議会会長 岩谷 由美